京城日報

水上部隊・サンホセ沖突入

輸船等十一を撃沈

飛行場、集積所へ巨弾

焰々、沿岸一帯火の海

【大本営発表】（昭和十九年十二月廿八日十五時）一、我水上部隊は十二月廿六日夜ミンドロ島サンホセ沖に突入し敵機の妨害を排除しつつ泊地附近の敵輸送船四隻並に魚雷艇数隻等を攻撃し輸送船全部、魚雷艇一隻、小型舟艇二隻を撃沈すると共に敵飛行場並に物資集積所を砲撃し附近一帯を火の海と化せしめたり

二、我航空部隊は右攻撃に協力し敵飛行場を爆撃数ヶ所を爆砕炎上せしめたるほか敵魚雷艇四隻を撃沈せり

三、本攻撃に於ける我方の損害　駆逐艦一隻大破

敵側も發表

サマール等

約六十機來襲

等炎上

ブロンボン金製

燃料集積所

ハルマヘラ北部に

九十六機來襲

モロタイ

敵基地連襲

サイパン連襲

飛行場八ヶ所を爆碎

【大本営発表】（昭和十九年十二月廿八日十五時）我航空部隊は十二月廿六日夜再びサイパンの敵飛行場を攻撃し、八箇所を爆碎炎上せしめたり

敵基地急襲

パーモ方面

サンホセ飛行場

晝夜四連爆碎

タクロバン數ヶ所炎上

艦艇群を撃退

ヤップ、父島にも敵機頻襲

在地機九擊破

米海軍損害隱蔽

米驅逐艦進水

B29西九州邀撃の偉勲に感狀

一隊一身、廿三屠る

單機七機擊破　尚も體當り

感狀

感狀

B29少數機

關東連襲

西原少尉、體當り擊墜

疎開對策を樹立せよ

社説

西部

白東南部激戰

戰車二百廿撃滅

九十二キロ進出

ルクセンブルグ

マントイフエル少將

獨戰車兵團司令官は

東部

熾烈の市街戰

ブ市中央部

西北方の連絡を遮斷

歐州鐵道網に困難

アイオワ級二隻建造

米、新戰機

増産に努力

米、原子爆彈を使用

新司偵

消費規正の要なし

鮮内新年度の主要食糧

意向通り決定

半島食糧増産等に

一千九百六十萬圓

第二豫備金支出決定

廿年度計畫一部繰上げ

水組區域灌漑用水の電化

高經、戰力増強へ萬全策

インフレ防止第三委員會設置

ロイド・ジョージ引退

チャーチル狙撃さる

定例次官會議

鉄箒

水社來訪

航空決戰に

銀を急げ！

日立製作所

謹告

國防無線工業株式會社

若櫻　少年飛行兵の雜誌

海軍　少年海兵の雜誌

大日本雄辯會講談社

帝國臟器　新女性ホルモン

A-O アーオー　結核　治療　発疫剤

イオベスチン錠　更年期障害　生理障害　武田發賣品

職務に命中せよ

"面倒な""困難な"は克服出来る

釜山は朝鮮の咽喉だ

阿部総督 慶南巡視終る

あつ"総督さんだ

埠頭に應徴士送る慈眼

まづ必勝祈願

新年奉祝を實施

皆勤者表彰

女子挺身隊から

敵撃滅の日迄働きます

鹽田局長に烈々の手紙

勤勞援護會

相談所を新設

農事業に再び五萬圓

柳原氏の美擧

嚴し特別賜金

優良社會事業團體へ

處遇改善感謝奉告祭

あす全鮮一齊に執行

横に流れた"明太"

正月用の特配を着服

明るみに出た闇の町會

必勝銃後を紊す

悄むべき犯罪だ

行列するな

配給に一工夫

適正配給を

白金

今度は強制買上げ

拒絶すれば懲役十年以下

黒煙吐く海底の敵

生への執着、B29の醜い最期

警察官初の二階級特進

夜間警察を一時間繰上

府民館

正月特配追加

幽靈人口に懲役五年

時計の修理は村木時計店へ

東天新生 (112)

山中峯太郎 作

警防・御苦勞さん

婦人會員が龍山署を慰問

正月用配給に

文化

"かくて神風は吹く"

證券市場

食榮素

強力性 調料理

決戦だ! 鉄動防止

中将湯

從業員急募

朝鮮住友輕金屬 元山工場

成興職業紹介所

廿九日より上映 朝日座

世界に告ぐ

陸海軍志願

なりたい少年兵

日本軍事教育會

和田醫院

古本

男女事務員採用

京城案内